

611
第7期

沖縄意見広告 報告集会

6月5日(日)琉球新報 沖縄タイムス 朝日新聞の3紙朝刊に掲載決定!



アメリカより特別ゲスト
アン・ライトさんを迎えて
開催します。

(元米陸軍大佐、国務省外交官を歴任。プロフィールは裏面)

工事中断! 沖縄の不屈の闘いが
安倍政権を追い詰めた!
普天間基地の即時閉鎖、辺野古断念を!

6月11日(日)午後6時開始 エルおおさか南館・5階ホール

〒540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東3-14 TEL. 06-6942-0001

プログラム

- 特別ゲスト
アン・ライトさん(元米陸軍大佐・国務省外交官)
- 辺野古現地報告
安次富浩さん(名護・ヘリ基地反対協共同代表)
- ビデオメッセージ
伊波洋一さん(元宜野湾市長)
- 発言
武 建一(沖縄意見広告運動代表世話人)

他・賛同団体より連帯あいさつ

資料代:500円

●主催:第7期沖縄意見広告運動

連絡先:〒533-0032 大阪府大阪市東淀川区淡路3-6-31協同会館アソシエ2階

Tel:06(6328)5677 Fax:06(6328)5777

mail: info@okinawaiken.org web: http://okinawaiken.org



オール沖縄の願いをオールジャパンの意思と行動に!

戦争準備のための新基地はいらない

6月5日(日)琉球新報 沖縄タイムス 朝日新聞の3紙朝刊に掲載決定!

第7期沖縄意見広告報告集会

●関西報告集会 6月11日(土) 午後6時～ エルおおさか南館・5Fホール

翁長雄志県知事が新基地阻止のために行なった前知事による「埋立て承認」の取り消しを不服として安倍政権は代執行訴訟を起こしましたが、沖縄の人々の不屈の闘いに追い詰められ、敗訴の政治的ダメージを避けるため「暫定和解案」を受け入れました。また沖縄防衛局も辺野古新基地工事を中断し、2ヶ月立った現在、浮具やオイルフェンスの撤去を始めました。しかしながら、日米両政府はこの場に及んでも「辺野古が唯一」「急がば回れた」と言い続けています。

民主主義と立憲主義を破壊する安倍政権の「安保法制―戦争法」強行と「新基地建設強行」とは、「アメリカと共に世界で戦争する国」作りのための表裏一体です。またそれは平和憲法の上に超法規的に覆いかぶさり、米軍基地問題の元凶でもある日米安保条約のあり方を問い、「本土」に住む者の「平和に生き、暮らしたい」との願いを踏みしめるものです。

今、沖縄とヤマトの民衆連帯に問われているのは、この工事中断の時期をいかに活かし、攻勢に転じて闘いを発展させ、新基地断念、普天間基地即時閉鎖を実現していくかということです。

こうした状況に応じていくために、今年も沖縄意見広告運動は6月5日に沖縄タイムス・琉球新報・朝日新聞への全面広告掲載を決めました。また6月11日(関西)、12日(東京)には、アメリカよりアン・ライトさんを特別ゲストに迎えて報告集会を開催いたします。皆さまのおいでをお待ち申し上げます。

■特別ゲスト■

アン・ライトさんプロフィール



米陸軍で29年間軍務につき、予備軍大佐として退役。その後、国務省の外交官として9カ国、16年間任に着き、4つの米国大使館で副大使を務める。

モンゴル赴任中の2003年3月にブッシュ政権のイラク戦争の間違いを指摘し、誤った政府の代弁はできないと辞表を提出。以後在野の「平和の外交官」としてアメリカをはじめ世界の紛争国で人権擁護・平和運動の先頭に立つ。

コード・ピンクのメンバー。

著書に『DISSENT―Voices of Conscience』、『異議あり!』(日本語版 コード・ピンク大阪発行、K9MP編集)、『怒れ!自由の女神よ』(K9MP刊行ブックレット)に「9条世界会議」でのスピーチを収録。

第7期沖縄意見広告運動

全国世話人

(五十音順、★印は代表世話人)

- 安次富 浩 名護・ヘリ基地建設反対協議会共同代表
- 伊波 洋一 元宜野湾市長
- 上原 成信 沖縄・一坪反戦地主
- 上原 公子 元国立市長
- 大野 和興 脱WTO/FTA草の根キャンペーン事務局長、日刊ベリタ代表
- 大湾 宗則 京都沖縄県人会
- 尾形 憲 法政大学名誉教授
- 高里 鈴代 基地・軍隊を許さない行動する女たちの会 共同代表
- ★武 建一 連帯労組生コン支部委員長、中小企業組合総合研究所代表
- 土屋源太郎 伊達判決を生かす会 共同代表
- 照屋 寛徳 衆議院議員
- 野平 晋作 ピースポート 共同代表
- 服部 良一 元衆議院議員
- 花輪 伸一 沖縄環境ネットワーク世話人
- ★山内 美彦 京大名誉教授、「変革のアソシエ」共同代表
- 山城 徳信 前参議院議員
- 生田 博治 沖縄平和運動センター議長
- あい 「変革のアソシエ」事務局長、本部事務局

「辺野古基金」の全国51紙「辺野古NO!」広告実施に、私たちも全面協力!



「辺野古基金」が全国から寄せられた基金で、世論を喚起するため、昨年8月30日～9月9日まで11日間「ヘリ基地反対協議会」と「島ぐるみ会議」の2団体を広告主として、「辺野古NO!」の全面広告(3種類)を全国の地方紙・全国紙合計51紙に掲載しました。その実施にあたって沖縄意見広告運動への協力要請があり、意見広告運動では全国世話人で相談し、要請に全力で応え、実施の諸実務と広告の連絡先などをお引き受けすることを決定しました。6期にわたって全国の賛同者の皆様と沖縄への思いを一つにして、共に真摯に取り組んできた私たち意見広告運動の実績と経験が活かされ、役に立つことができたことを喜びといたします。

沖縄意見広告運動全国世話人一同

【第一期よりの意見広告】



西日本キャラバンルート終了

- ① 沖縄ルート→2月15日～21日
- ② 四国ルート→3月14日～16日
- ③ 九州・中国ルート→4月4日～8日
- ④ 北陸ルートを企画検討中



建設工事車両ではなく、基地建設に抗議する労働者のミキサー車キャラバンがゲート前に到着した(2月16日)